

各科診療科長
各科診療科副科長
各医局長 殿
看護師長

Drug Information News

平成19年1月12日

NO. 165

目次

- | |
|--|
| 【1】医薬品・医療機器等安全性情報 (No.231)
.....厚生労働省医薬局安全対策課より |
| 【2】添付文書の改訂メーカー通知より |
| 【3】Q&A検査値に影響を与える医薬品 |

薬剤部HP(<http://www.med.oita-u.ac.jp/yakub/index.html>)に内容を掲載しています。



大分大学医学部附属病院薬剤部DI室
(内線:6108 E-mail:DI@med.oita-u.ac.jp)

【 1 】 医薬品・医療機器等安全性情報 No.231

(詳細は厚生労働省 HP <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/12/h1221-4.html>)

1. 重要な副作用等に関する情報

前々号(医薬品・医療機器等安全性情報 No.229)以降に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等に関する情報を紹介する(詳細は厚生労働省 Hp もしくはDI 室まで)

[1] タクロリムス水和物(カプセル剤 0.5mg・1mg)

販売名(会社名)	プログラフカプセル 0.5mg, 同カプセル 1mg (アステラス製薬)
薬効分類等	他に分類されない代謝性医薬品
効能効果	1. 下記の臓器移植における拒絶反応の抑制 腎移植, 肝移植, 心移植, 肺移植, 膵移植 2. 骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制 3. 全身型重症筋無力症(胸腺摘出後の治療において, ステロイド剤の投与が効果不十分, 又は副作用により困難な場合) 4. 関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に限る)

《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》

[慎重投与] 関節リウマチに間質性肺炎を合併している患者

[副作用 (重大な副作用)] 間質性肺炎の悪化: 関節リウマチに間質性肺炎を合併している患者では間質性肺炎の悪化が起こることがあるので, 観察を十分に行い, 発熱, 咳嗽, 呼吸困難等の呼吸器症状が認められた場合には, 本剤の投与を中止するとともに, 速やかに胸部レントゲン検査, 胸部CT検査及び血液検査等を実施し, 感染症との鑑別診断を考慮に入れて, 副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
糖尿病, 高血糖: 糖尿病及び糖尿病の悪化, 高血糖があらわれることがあるので, 観察を十分に行い, 異常が認められた場合には減量・休薬等の適切な処置を行うこと。

参 考 直近約3年間(平成15年4月1日~平成18年9月22日)の副作用報告(因果関係が否定できないもの)の件数

- ・ 間質性肺炎の悪化: 10例(うち死亡2例)
- ・ 糖尿病, 高血糖: 13例(うち死亡0例)

関係企業が推計したおおよその年間使用者数: 約1万5000人(うち, 関節リウマチ領域: 約5000人)(平成17年10月~平成18年9月)

販売開始: 平成5年6月

(関節リウマチの追加適応承認取得: 平成17年4月)

[2] ゲフィチニブ

販売名（会社名）	イレッサ錠 250（アストラゼネカ）
薬効分類等	その他の腫瘍用薬
効能効果	手術不能又は再発非小細胞肺癌

《使用上の注意（下線部追加改訂部分）》

[副作用
(重大な副作用)] 肝炎, 肝機能障害, 黄疸: 肝炎, AST (GOT), ALT (GPT), LDH, γ -GTP, Al-P, ビリルビンの上昇等を伴う肝機能障害, 黄疸があらわれることがあるので, 本剤投与中は1~2ヵ月に1回, あるいは患者の状態に応じて肝機能検査を実施するなど観察を十分に行い, 重度の肝機能検査値変動が認められた場合には, 投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

参 考 直近約3年間(平成15年4月1日~平成18年7月4日)の副作用報告(因果関係が否定できないもの)の件数
・肝炎, 黄疸: 9例(うち死亡1例)
関係企業が推計したおよその使用者数: 新規処方患者数約2400人, 継続投与患者数約6800人
(2006年6月末時点で集計した4~6月の間の新規処方患者数及び6月末時点での継続投与患者数)
販売開始: 平成14年7月

2 添付文書の改訂

…メーカー通知より

2 - 1 今回改訂の医薬品

【警告】

- ・ リツキサソ注
- ・ ボルヒールエンドスプレー

【禁忌】

- ・ ボルヒールエンドスプレー

【効能・効果(使用上の注意)】

- ・ パズクロス注500

【用法・用量(使用上の注意)】

- ・ レミナロン注射用

【慎重投与】

- ・ モービック錠10mg

【重要な基本的注意】

- ・ オリベス点滴用1%
- ・ ノボリン、イノレット、ペンフィル、ノボラピッド
- ・ リツキサソ注
- ・ ベタフェロン皮下注
- ・ ボルヒールエンドスプレー

【相互作用(併注)】

- ・ モービック錠10mg
- ・ インデラル錠10mg、インデラル注射液2mg
- ・ ノボリン、イノレット、ペンフィル、ノボラピッド
- ・ トポテシン注

【重大な副作用】

- ・ レミナロン注射用
- ・ リツキサソ注
- ・ ペガシス皮下注90 µg、ペガシス皮下注180 µg

【重大な副作用(類薬)】

- ・ ペガシス皮下注90 µg、ペガシス皮下注180 µg

【その他の副作用】

- ・ モービック錠10mg
- ・ プラダロン錠
- ・ トポテシン注
- ・ オフサグリーン静注用25mg

【適用上の注意】

- ・ ノボリン、イノレット、ペンフィル、ノボラピッド
- ・ レミナロン注射用

【その他の注意】

- ・ ドボネックス軟膏

【副作用】

- ・ ベタフェロン皮下注

2 - 2 添付文書改訂の内容

: 指導による改訂 : 自主改訂

114 解熱鎮痛消炎剤

モービック錠10mg

【慎重投与】

出血傾向のある患者 [血小板機能異常が起こることがあるため、出血傾向を助長するおそれがある。]

炎症性腸疾患 (クロウン病あるいは潰瘍性大腸炎) の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

【相互作用 (併注) 】

ACE阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗剤
臨床症状・措置方法：糸球体濾過量がより減少し、腎障害のある患者では急性腎不全を引き起こす可能性がある。

機序・危険因子：プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下するためと考えられる。

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

臨床症状・措置方法：出血傾向が増強するおそれがある。

機序・危険因子：選択的セロトニン再取り込み阻害剤は血小板凝集抑制作用を有するためと考えられる。

プロスタグランジン合成阻害剤

(糖質コルチコイド、他の非ステロイド性消炎鎮痛剤、サリチル酸塩 (アスピリンを含む))

臨床症状・措置方法：消化性潰瘍および胃腸出血のリスクを高める可能性がある。

機序・危険因子：両剤ともプロスタグランジン合成阻害作用を有するためと考えられる。

抗血小板剤 (チクロピジン)

臨床症状・措置方法：出血傾向が増強するおそれがある。

機序・危険因子：抗血小板剤は血小板凝集抑制作用を有するためと考えられる。

【その他の副作用】

精神神経系

頻度不明

抑うつ

その他

頻度不明

排尿障害 (尿閉を含む)

212 不整脈用剤

インデラル錠10mg、インデラル注射液2mg

【相互作用 (併注) 】

アルコール

本剤の血中濃度の変動により、作用が減弱または増強する可能性があるため注意すること。アルコールにより本剤の吸収、代謝が変動するためと考えられている。

オリベス点滴用1%

【重要な基本的注意】

テルフェナジンが既に国内販売中止となっているため記載削除。

249 その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)

ノボリン、イノレット、ベンフィル、ノボラピッド

【重要な基本的注意】

低血糖を起こすことがあるので、注意すること。特に、食事を摂取しなかったり、予定外の激しい運動を行った場合、低血糖を引き起こしやすい。低血糖が無処置の状態が続くと低血糖昏睡等を起こし、重篤な転帰 (中枢神経系の不可逆的障害、死亡等) をとるおそれがある。また、低血糖に関する注意について、患者及びその家族に十分徹底させること。

【相互作用 (併注) 】

速効型インスリン分泌促進剤: ナテグリニド等血糖降下作用の増強による低血糖症状があらわれることがある。併用する場合は血糖値その他患者の状態を十分観察しながら投与すること。

機序：インスリン分泌促進作用による血糖降下作用を有する。

ベザフィブラート

血糖降下作用の増強による低血糖症状があらわれることがある。併用する場合は血糖値その他患者の状態を十分観察しながら投与すること。

機序：インスリン感受性増強等の作用により、本剤の作用を増強する。

蛋白同化ステロイド:メスタノロン

血糖降下作用の増強による低血糖症状、又は減弱による高血糖症状があらわれることがある。併用する場合は血糖値その他患者の状態を十分観察しながら投与すること。

機序不明

【適用上の注意】

投与部位

皮下注射は、上腕、大腿、腹部、臀部等に行う。投与部位により吸収速度が異なるので部位を決め、その中で注射場所を毎回変えること。前回の注射場所より2~3cm離して注射すること。

259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬

ブラダロン錠

【その他の副作用】

消化器

頻度不明

嘔吐、胃痛、腹痛、胸やけ

269 その他の外皮用薬

ドボネックス軟膏

【その他の注意】

雌雄アルビノ無毛マウスを用いて40週間にわたり光線(キセノンランプ)照射しカルシポトリオール液剤を塗布した実験で、雄において皮膚腫瘍誘発に必要な光線照射時間の有意な短縮が認められたとの報告がある。しかし、同液剤をマウスに単独で塗布した実験では皮膚腫瘍誘発は認められていない。

399 他に分類されない代謝性医薬品

レミナロン注射用

【用法・用量(使用上の注意)】

汎発性血管内血液凝固症には本剤は高濃度で血管内壁を障害し、注射部位及び刺入した血管に沿って静脈炎や硬結、潰瘍・壊死を起こすことがあるので、末梢血管から投与する場合、本剤100mgあたり50mL以上の輸液(0.2%以下)で点滴静注することが望ましい。

【重大な副作用】

注射部位の皮膚潰瘍・壊死(頻度不明):本剤の濃度が高くなると、血管内壁を障害し、注射部位及び刺入した血管に沿って静脈炎や硬結、潰瘍・壊死を起こすことがあるので、観察を十分に行い、注射部位の血管痛、発赤、炎症等があらわれた場合には投与部位の変更又は投与を中止し、適切な処置を行うこと。

無顆粒球症(頻度不明):無顆粒球症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止すること。

【適用上の注意】

投与時:薬液が血管外へ漏れると、注射部位に潰瘍・壊死を起こすことがあるので、薬液が血管外へ漏れないよう注意すること。また、血液うっ滞が起らないようできるだけ太い血管より投与すること。

424 抗腫瘍性植物成分製剤

トボテシン注

【相互作用(併注)】

CYP3A4阻害薬

モザバプタン塩酸塩等

臨床症状・措置方法:骨髄機能抑制、下痢等の副作用が増強するおそれがある。

患者の状態を観察しながら、減量するかまたは投与間隔を延長する。

機序・危険因子:本剤は、主にカルボキシシルエステラーゼにより活性代謝物(SN-38)に変換されるが、CYP3A4により一部無毒化される。CYP3A4を阻害する上記薬剤等との併用により、CYP3A4による無毒化が阻害されるため、カルボキシシルエステラーゼによるSN-38の生成がその分増加し、SN-38の全身曝露量が増加すること。

【その他の副作用】

消化器
頻度不明
胃炎，消化不良，便秘
呼吸器
頻度不明
咳嗽
精神神経系
頻度不明
不眠
循環器
頻度不明
不整脈
その他
頻度不明
胸部不快感，筋痛，注射部位反応（発赤，疼痛等），
血管炎

429 その他の腫瘍用薬

リツキサン注

【警告】

B型肝炎ウイルスキャリアの患者で、本剤の治療期間中又は治療終了後に、劇症肝炎又は肝炎の増悪、肝不全による死亡例が報告されている。

【重要な基本的注意】

B型肝炎ウイルスキャリアの患者で、本剤の投与により、劇症肝炎又は肝炎が増悪することがあるので、本剤の治療期間中及び治療終了後は継続して肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど患者の様態を十分に観察し、異常が認められた場合は投与を中止し、直ちに抗ウイルス剤を投与するなど適切な処置を行うこと。なお、投与開始前にHBs抗原陰性の患者において、B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎を発症し、死亡にいたった症例が報告されている。

本薬の治療中より末梢リンパ球の減少があらわれ、治療終了後も持続すること、また免疫グロブリンが減少した例が報告されていることなど、免疫抑制作用により細菌やウイルスによる感染症が生じる又は悪化する可能性があるため、患者の状態を十分観察すること。感染症が生じた場合は適切な治療を行うこと。

【重大な副作用】

B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪（頻度不明）：B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎又は肝炎の増悪による肝不全があらわれることがあるので、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど患者の状態を十分に観察すること。

消化管穿孔（頻度不明）：消化管穿孔があらわれることがあるので、消化管穿孔の初期症状としての腹痛、腹部膨満感、下血、吐血、貧血等の観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちにX線、CT検査等を実施して出血部位、穿孔所見の有無を確認し、適切な処置を行うこと。

624 合成抗菌剤

バズクロス注500

【効能・効果（使用上の注意）】

本剤の使用に際しては、起炎菌と適応患者を十分考慮し、一次選択薬としての要否を検討すること。

639 その他の生物学的製剤

ベガシス皮下注90 µg、ベガシス皮下注180 µg

【重大な副作用】

溶血性尿毒症症候群（HUS）、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）（頻度不明）

血小板減少、貧血、腎不全を主徴とする溶血性尿毒症症候群（HUS）、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）があらわれることがあるので、定期的に血液検査（血小板、赤血球等）及び腎機能検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【重大な副作用（類薬）】

削除

ベタフェロン皮下注

【重要な基本的注意】

添加物に使用している人血清アルブミンの現在の製造工程では、ヒトパルボウイルスB19等のウイルスを完全に不活化・除去することが困難であるため、本剤の投与によりその感染の可能性を否定できないので、投与後の経過を十分に観察すること。

現在までに本剤の投与により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）等が伝播したとの報告はない。しかしながら、添加物に使用している人血清アルブミンの製造工程において異常プリオンを低減し得るとの報告があるものの、理論的なvCJD等の伝播のリスクを完全には排除できないので、投与の際には患者への説明を十分行い、治療上の必要性を十分検討の上投与すること。

【副作用】

血液

白血球増加（リンパ球増加、好中球増加等）

代謝異常

低カルシウム血症、高尿酸血症、トリグリセリド上昇、血中コレステロール上昇、低血糖、体重増加、体重減少

皮膚

脱毛（症）、発赤、発疹、そう痒

729 その他の診断用薬(体外診断用医薬品を除く)

オフサグリーン静注用25mg

【その他の副作用】

消化器

悪心、嘔気、嘔吐(0.1～5%未満)

過敏症

蕁麻疹(0.1～5%未満)

799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品

ボルヒールエンドスプレー

【警告】

1.本品使用中は加圧ガスが送気されているのでガス塞栓症の発症の危険性に十分留意し、閉鎖系での使用とならないように注意すること。[ガス塞栓の危険性がある。]

2.噴霧塗布する際には、組織に過度な圧力が掛からないようにノズルを近づけすぎないこと。[組織損傷、ガス塞栓の危険性がある。]

【禁忌】

活動性出血部位。[止血不能、ガス塞栓の危険性がある。]

気服法による腹腔鏡下外科手術。[ガス塞栓の危険性がある。]

ノズルを切離面に挿入又は密着させた状態での噴霧。[ガス塞栓の危険性がある。]

【重要な基本的注意】

[使用前注意]本品は熟練した医師の管理下で使用すること。本品使用中は加圧ガスが送気されているのでガス塞栓症の発症の危険性に充分留意し、閉鎖系での使用とならないように注意すること。

[使用時注意]活動性出血部位や、ノズルを切離面に挿入したり密着させての噴霧塗布は絶対に行わないこと。ガス塞栓の危険性がある。

【3】 Q&A 検査値に影響を与える医薬品

医薬品の中には、検査値に影響を及ぼすものが多数報告されています。検査値に影響を与える医薬品として添付文書に記載のあるものを、医薬品ごと、検査ごとにまとめました。ご参照ください。

(院内採用医薬品のみ 2007年1月現在)

(注:ここに記載した医薬品が全てではありません。詳しくは添付文書をご確認ください。)

< 医薬品別 >

医薬品名	医薬品による影響
E・A・C	尿糖の検出を妨害。 各種の尿・便潜血反応検査で偽陰性。
HCGモチダ	免疫学的妊娠反応で偽陽性。
Jヨード	酸化反応を利用した潜血試験で偽陽性。
アイピーディ	アレルギー皮内反応を抑制。
アクチット	グルコース脱水素酵素(GDH)法を用いた血糖測定法ではマルトースが測定結果に影響を与え、見かけ上高値。
アタラックスP	アレルギー反応を抑制。
アデラピン	黄色の着色尿。
アドナ	尿ウロビリノーゲン試験で偽陽性。 だいたい黄色の着色尿。
アンジュ28	総コレステロール、総T ₃ 、総T ₄ の上昇。これらの遊離型は変化しない。
イオパミロン	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響。
イソジンゲル	酸化反応を利用した潜血試験で偽陽性。
イソピスト	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響。
インクレミンシロップ	潜血反応で偽陽性。
ウログラフィン	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響。 スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性。
ウロミテキサン	試験紙による尿中ケトン体検査で偽陽性。
エパルレスタット	黄褐色または赤色の着色尿。
オーツカMV	尿糖の検出を妨害。 各種の尿検査(潜血、ビリルビン、亜硝酸塩)・便潜血反応検査で偽陰性。 黄色の着色尿。
オスバン	試験紙法による尿蛋白検査で偽陽性。スルホサリチル酸法により検査する。
オフサグリーン	甲状腺放射性ヨード摂取率検査に影響。
オフタルムK	尿ウロビリノーゲン試験で偽陽性。 アスコルビン酸により各種の尿糖検査で、尿糖の検出が妨害。 各種の尿・便潜血反応検査で偽陰性。
オブチレイ	甲状腺機能検査等に影響。
オムニスキャン	比色分析法(キレート滴定法)による血清カルシウム測定値および他の電解質の測定値に影響。
オムニパーク	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響。
ガストログラフィン	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響。
カプトリル	尿中ケトンが偽陽性。
カルベニン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬、フェーリング試薬、クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。 ウロビリノーゲンの測定では、本剤が採尿後時間の経過とともに茶色に着色し、測定に影響。
キネダック	黄褐色又は赤色の着色尿。
クラバモックス	テストテープ反応を除くベネディクト試薬、フェーリング試薬、クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。
クラフォラン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬、フェーリング試薬、クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 クレアチニン値の測定(ヤッフエ反応等)で見かけ上の高値。 直接クームス試験で偽陽性。
ケフラル	テストテープ反応を除くベネディクト試薬、フェーリング試薬、クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
献血ヴェノグロブリン	各種感染症の病原体又はその産生物質に対する免疫抗体が一時検出。
サヴィオゾール	血液型判定又は交差試験を妨害。
サテニジン	本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性。
ザンタック	試験紙法による尿蛋白検査で偽陽性。スルホサリチル酸法により検査する。
ジアグノグリーン	甲状腺放射性ヨード摂取率検査に影響。

シナール	尿糖の検出を妨害。 各種の尿試験紙法による尿検査(潜血,ビリルビン,亜硝酸塩)・便潜血反応検査で偽陰性。
シベノール	ブロムフェノールブルー系試験紙法での尿蛋白検査で偽陽性。スルホサリチル酸法を用いる。
ストックリン	尿カンナビノイド試験で偽陽性。偽陽性の試験結果は、スクリーニングにCEDIA DAU Multilevel THCアッセイを用いた場合のみで認められており、陽性結果の確認に用いられる試験を含めた他のカンナビノイドアッセイでは認められていない。
スルペゾール	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
セタプリル	尿中ケトン(アセトン)が偽陽性。
セファメジン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
セフゾン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
ソタコール	尿中メタネフリン(カテコールアミン)が見かけ上高値(分光分析を用いた場合)。褐色細胞腫の検査を行う場合には、固相抽出によるHPLC等を用いる。
タゾシン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。 血清中アスペルギルス抗原(ガラクトマンナン)の検査で偽陽性。
炭酸水素ナトリウム	胃酸分泌試験において、ペントガストリンやヒスタミンの効果に拮抗。全身及び尿のpH値を変化。
チエナム	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
ツムラ人參養榮湯	血中AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)の増加。
低分子デキストランL注	血液型判定又は交叉試験を妨害。
デカドロン	インドメタシン投与中患者のデキサメタゾン抑制試験で偽陰性。 副腎皮質ホルモン剤により、細菌感染症に対するニトロブルー・テトラゾリウム試験で偽陰性。
ナトリックス	甲状腺障害のない患者の血清PBIを低下。
ネオパレン	尿糖の検出を妨害。 各種の尿検査(潜血,ビリルビン,亜硝酸塩)・便潜血反応検査で偽陰性。 黄色の着色尿。
ノイロピタン	黄色の着色尿。
ハイアミン	本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性。
ハイペン	ビリルビン試験で偽陽性。
ハイボン	黄色の着色尿。
バクシダール	チモール混濁反応で見かけ上低値。
バクタ	メトトレキサートと併用した場合、ジヒドロ葉酸還元酵素を用いたメトトレキサート濃度の測定で見かけ上の高値。 クレアチニン値の測定(ヤッフェ反応等)で見かけ上の高値。
パナン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
ハロスポア	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
パンスポリン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。
パンピタン	黄色の着色尿。
ピクシリン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。
ピタシミン	尿糖の検出を妨害。 各種の尿・便潜血反応検査で偽陰性。
ファーストシン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で偽陽性。 直接クームス試験で偽陽性。

フィニボックス	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性. ウロビリノーゲン検査で偽陽性.
フェロミア	潜血反応で偽陽性.
フラピタン	黄色の着色尿.
フルイトラン	甲状腺障害のない患者の血清PBIの低下.
フルマリン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性.
ブレディニン	尿中ビリルビン試験で偽陽性.
プロベシア	血清前立腺特異抗原(PSA)濃度の低下(約40~50%). 本剤投与中の男性型脱毛症患者に対し前立腺がん診断の目的で血清PSA濃度を測定する場合は, 2倍した値を目安として評価する.
フロモックス	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性.
ヘスパンダー	血液型の判定又は交叉試験を妨害する可能性.
ベゼトン	本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は, スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性.
ペリアクチン	薬物スクリーニング検査(尿, 血清等)で, 三環系抗うつ剤に対する偽陽性.
ペントシリン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 血清中アスベルギルス抗原(ガラクトマンナン)の検査で偽陽性.
ボンゾール	テストステロン又は血漿蛋白の臨床検査結果に影響.
ポントール	イクトテストによる尿ビリルビン検査で偽陽性.
マイクロシールドPVP	酸化反応を利用した潜血試験で偽陽性.
マキシピーム	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性.
マグコロールP	尿pHがアルカリ性になる. プロムフェノールブルー系の試験紙法による尿蛋白試験で偽陽性.
マドパー	ニトロプルシッドナトリウムの検尿テープによる尿検査でケトン体反応が偽陽性.
メイアクト	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性.
メネシット	ニトロプルシッドナトリウムの検尿テープによる尿検査でケトン体反応が偽陽性.
メプチン	アレルギーによる皮膚反応の抑制.
メロペン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性. ウロビリノーゲン検査で偽陽性.
モダシン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性.
ユナシン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 妊婦へのアンピシリン投与により, 総結合型エストロール, エストロール-グルクロニド, 結合型エストロン, エストラジオールの一時的な血清中濃度の減少.
ヨードホルムガーゼ	血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響.
リウマトレックス	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. クレアチニン値の測定(ヤッフェ反応等)で見かけ上の高値. 直接クームス試験で偽陽性.
リザベン	アレルギー皮内反応の抑制.
リピオドルウルトラフルイド	甲状腺機能検査等の検査値に影響.
リファジンカプセル	BSPまたはICG排泄の遅延. 微生物学的検査法による血清中葉酸値, ビタミンB ₁₂ 値の異常.
リマチル	ニトロプルシッド反応の原理により尿中ケトン体反応が偽陽性.
ロセフィン	テストテープ反応を除くベネディクト試薬, フェーリング試薬, クリニテストによる尿糖検査で偽陽性. 直接クームス試験で偽陽性.

< 検査別 >

検査名	医薬品による影響	医薬品名	
尿中ビリルビン試験	偽陽性.	ボンタール ハイベン ブレディニン	
	偽陰性.	E・A・C オーツカMV オフタルムK	シナール ネオパレン ビタシミン
ウロビリノーゲン検査	ウロビリノーゲンの測定では、本剤が採尿後時間の経過とともに茶色に着色するので3時間以内に測定する.	カルベニン	
	偽陽性.	フィニボックス オフタルムK	メロペン アドナ
尿蛋白検査	スルホサリチル酸法で偽陽性.	ウログラフィン	
	試験紙法で偽陽性.スルホサリチル酸法により検査する.	オスパン ザンタック	
	尿pHがアルカリ性を呈する.プロムフェノールブルー系の試験紙法で偽陽性.	マグコロールP	
	本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スリホサリチル酸法で偽陽性.	サテニジン ベゼトン	ハイアミン
	プロムフェノールブルー系試験紙法で偽陽性.スルホサリチル酸法を用いる.	シベノール	
尿糖検査	テストテープ反応を除くベネディクト試薬,フェーリング試薬,クリニテストによる尿糖検査で、偽陽性.	タゾシン ハロスボア ピクシリン ペントシリン ユナシン カルベニン クラバモックス クラフォラン ケフラル スルベゾール セファメジン セフゾン リウマトレックス	パナン パンスポリン ファーストシン フィニボックス フルマリン フロモックス マキシビーム メイアクト メロペン チエナム ロセフィン モダシン
	尿糖検出の妨害.	E・A・C オーツカMV オフタルムK	シナール ネオパレン ビタシミン
尿中ケトン体検査	試験紙による検査で偽陽性.	マドパー メネシット	リマチル ウロミテキサン
	偽陽性.	セタブリル カプトリル	
尿カンナビノイド試験	尿カンナビノイド試験で偽陽性.偽陽性の試験結果は、スクリーニングにCEDIA DAU Multilevel THCアッセイを用いた場合のみで認められており、他のカンナビノイドアッセイでは認められていない.	ストックリン	
クレアチニン値測定	見かけ上の高値.	バクタ クラフォラン リウマトレックス	
潜血試験	酸化反応を利用した試験で偽陽性.	マイクロシールドPVP Jヨード イソジンゲル	
	偽陽性.	インクレミンシロップ フェロミア	
	偽陰性.	E・A・C オーツカMV オフタルムK	シナール ネオパレン ビタシミン
着色尿	だいたい黄色.	アドナ	
	黄褐色または赤色.	エパルレスタット キネダック	
	黄色.	アデラピン フラビタン パンピタン ノイロピタン	オーツカMV ネオパレン ハイボン
尿中カテコールアミン測定	尿中メタネフリン(カテコールアミン)の測定で見かけ上高値(分光分析を用いた場合).測定には固相抽出によるHPLC等を用いる.	ソタコール	
pH変化	胃酸分泌試験において、ペントガストリンやヒスタミンの効果に拮抗.全身及び尿のpH値を変化.	炭酸水素ナトリウム	
便潜血反	偽陰性.	E・A・C	シナール

応		オーツカMV オファルムK	ネオパレン ピタシミン
血糖測定	グルコース脱水素酵素(GDH)法を用いた血糖測定法で、マルトースの影響により見かけ上高値.	アクチット	
血液型判定	血液型判定又は交叉試験の妨害.	ヘスパンダー 低分子デキストランL サヴィオゾール	
ニトロブルー・テトラゾリウム試験	副腎皮質ホルモン剤により、細菌感染症に対するニトロブルー・テトラゾリウム試験で偽陰性.	デカドロン	
チモール混濁反応	チモール混濁反応を用いる検査において見かけ上の低値.	バクシダール	
デキサメタゾン抑制試験	インドメタシン投与中患者で偽陰性.	デカドロン	
甲状腺機能検査	血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼす.	ヨードホルムガーゼ	
	甲状腺機能検査等の放射性ヨードによる検査に影響を及ぼす.	ガストログラフィン リビオドールウルトラフルイド ウログラフィン オムニパーク イオパミロン イソピスト	オブチレイ オフサグリーン ジアグノグリーン
直接クームス試薬	偽陽性.	タゾシン パンスポリン ハロスボア ファーストシン カルベニン フィニバックス クラフォラン フルマリン ケフラル フロモックス リウマトレックス	スルベゾール マキシピーム セファメジン メイアクト セフゾン メロペン チエナム パナン ロセフィン モダシン
アレルギー皮内反応	アレルギー皮内反応の抑制.	アタラックスP アイビーディカプセル その他の抗アレルギー薬	リザベン メプチン
その他	総コルチゾール, 総T ₃ , 総T ₄ の上昇. これらの遊離型は変化しないとされている.	アンジュ28	
	血中AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)の増加.	ツムラ人参養栄湯	
	血清前立腺特異抗原(PSA)濃度の低下(約40~50%). 本剤投与中の男性型脱毛症患者に対し前立腺がん診断の目的で血清PSA濃度を測定する場合は, 2倍した値を目安として評価する.	プロペシア	
	甲状腺障害のない患者の血清PBIを低下させる.	ナトリックス フルイトラン	
	血清中アスペルギルス抗原(ガラクトマンナン)の検査で偽陽性.	タゾシン ペントシリン	
	薬物スクリーニング検査(尿, 血清等)で, 三環系抗うつ剤に対する偽陽性.	ベリアクチン	
	BSPまたはICG排泄の遅延.	リファジンカプセル	
	免疫学的妊娠反応で陽性.	HCGモチダ	
	比色分析法(キレート滴定法)による血清カルシウム測定値および他の電解質測定値に影響.	オムニスキャン	
	各種感染症の病原体又はその産生物質に対する免疫抗体の検出.	献血ヴェノグロブリン	
	微生物学的検査法による血清中葉酸値, ビタミンB ₁₂ 値の	リファジンカプセル	
	妊婦へのアンピシリン投与により, 総結合型エストリオール, エストリオール-グルクロニド, 結合型エストロン, エストラジオールの一時的な血清中濃度の減少.	ユナシン	
	テストステロン又は血漿蛋白の臨床検査結果に影響を及ぼす.	ボンゾール	